

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【公開番号】特開2013-132781(P2013-132781A)

【公開日】平成25年7月8日(2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-036

【出願番号】特願2011-283234(P2011-283234)

【国際特許分類】

B 3 2 B 3/12 (2006.01)

E 0 4 C 2/36 (2006.01)

B 6 4 G 1/22 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 3/12 B

E 0 4 C 2/36 G

B 6 4 G 1/22

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ハニカムコアの上下面を表皮で挟んだサンドイッチパネルであって、

前記ハニカムコアを構成する筒状のセルの側面に、前記筒状のセルの上下開口部のいずれか一方の開口部をなす辺の一部から切り込まれた切り口が形成されていることを特徴とするサンドイッチパネル。

【請求項 2】

前記切り口は空気が通る経路であって、

前記ハニカムコアの内部と外気の間に圧力差がある場合に、前記ハニカムコアの内部の空気は、前記切り口を通して前記ハニカムコアの外部に放出されることを特徴とする請求項 1 記載のサンドイッチパネル。

【請求項 3】

前記ハニカムコアを構成する筒状のセルの側面には、前記いずれか一方の開口部の、他方の開口部をなす辺の一部から切り込まれた切り口が形成されていることを特徴とする請求項 1、2 のいずれか記載のサンドイッチパネル。

【請求項 4】

前記切り口の形状は、スリット状であるか、あるいは、直線の切れ目であることを特徴とする請求項 1～3 のいずれか記載のサンドイッチパネル。

【請求項 5】

前記切り口は、刃物の刃先を前記開口部をなす辺の一部に当てて加工されていることを特徴とする請求項 1～4 のいずれか記載のサンドイッチパネル。

【請求項 6】

前記切り口には前記切り口の形状と略同一の形状で前記セルの材質と同一の材質の部材片が付着していることを特徴とする請求項 1～5 のいずれか記載のサンドイッチパネル。

【請求項 7】

前記ハニカムコアの材質は、

繊維素材を樹脂と複合化させた複合材であって、C F R P（カーボン繊維強化プラスチック）、G F R P（ガラス繊維強化プラスチック）、Q F R P（クォーツ繊維強化プラスチック）のいずれか、

あるいは、

アラミド繊維素材を樹脂と複合化させたA F R P（アラミド繊維強化プラスチック）、
であることを特徴とする請求項 1～6 のいずれか記載のサンドイッチパネル。

【請求項 8】

ハニカムコアを構成する筒状のセルの側面に、前記筒状のセルの上下開口部のいずれか一方の開口部をなす辺の一部から切り込まれた切り口が形成されていることを特徴とするハニカムコア。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

この発明に係るサンドイッチパネルは、ハニカムコアの上下面を表皮で挟んだサンドイッチパネルであって、

前記ハニカムコアを構成する筒状のセルの側面に、前記筒状のセルの上下開口部のいずれか一方の開口部をなす辺の一部から切り込まれた切り口が形成されているようにした。